

2021 食育の取り組み

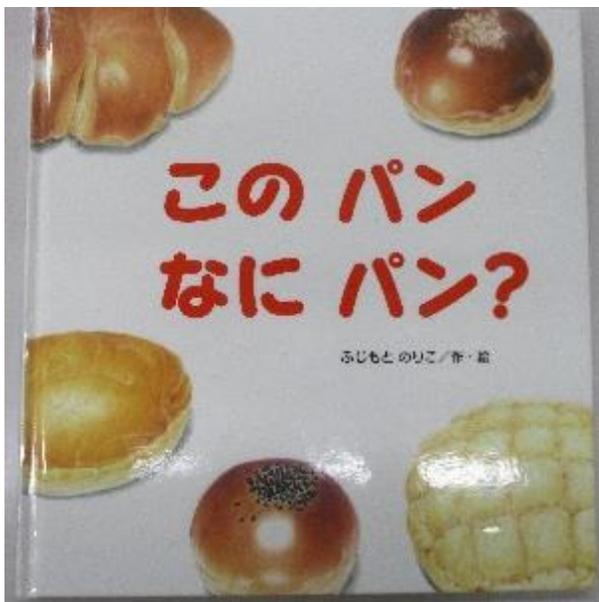
①取り組んだ動機

コロナ禍で調理保育が出来ないので、食べ物が何からできているのかを知るいい機会になればと
考え取り組みました。

②取り組んだ内容

パンは小麦粉からできていることを知ってもらうために、小麦粘土とパンがどのようにできるのか、
絵本を読みました。

③工夫した点



0歳児と1歳児は、小麦粉が粉の状態の水を入れてどのように
なっていくかを知るために小麦粘土をしました。

サラサラの粉の状態から少しずつ水を入れていき、子どもたち
と一緒に捏ねながらだんだんとまとまっていく変化を楽しみま
した。「このパンなにパン」という絵本を読んで小麦粉がパンに
なることを伝えました。

絵本は、とても興味を示して、絵本のパンをパクっと食べる仕
草をして楽しそうに聞いていました。

2歳児は、「パンができるまで」という絵本を読みました。
内容が難しいため、少し言い方や内容を簡易的にしてわかり
やすいように文章を変えて読みました。

麦を石うすで挽いて、粉になること、そこに水と酵母を入れ
れば、パンが出来る事を知りました。

どのクラスもおやつ時間に手作りパンを提供して、小麦粉
がパンになって食べられるものになることを知りました。



④子どもたちの反応

0歳児は、嫌がる様子もなく積極的に触れて洋服が真っ白になるくらい楽しそうに触感を楽しんでいた。

1歳児は、手が汚れたりベタベタするのを嫌がる子どももいましたが、小麦粉がまとまってくると丸めたり潰したりして形を作っていました。



2歳児は、小麦粉の粉がパンになったことに理解を示していました。パンの材料を言いながら食べていて、「小麦粉、バター、水、酵母！」と教えてくれました。

おやつは残すことが多いクラスですが、この日は完食して空っぽのお皿で返ってきました。

